

# タイムライン展解題

# 制作・展示・作家からの声を中心に

「タイムライン——時間に触れるためのいくつかの方法」展企画シンポジウム

vol. 1

京都大学総合博物館二〇一九年度企画展「タイムライン——時間に触れるためのいくつかの方法」の関連企画として、2回にわたってシンポジウムを開催いたします。

「タイムライン展解題——制作・展示・作家からの声を中心に」と題した第1回目は、出版作家が集合し、今回の作品制作、展覧会のコンセプトとの連関、展示プランの特徴などについて発表と議論を行います。シンポジウム後半ではゲストスピーカーとして、京都大学の武田宙也准教授、信州大学の金井直准教授をお招きし、多角的な視野からの分析を踏まえつつ、作家の声や語りにも耳を傾ける場となります。

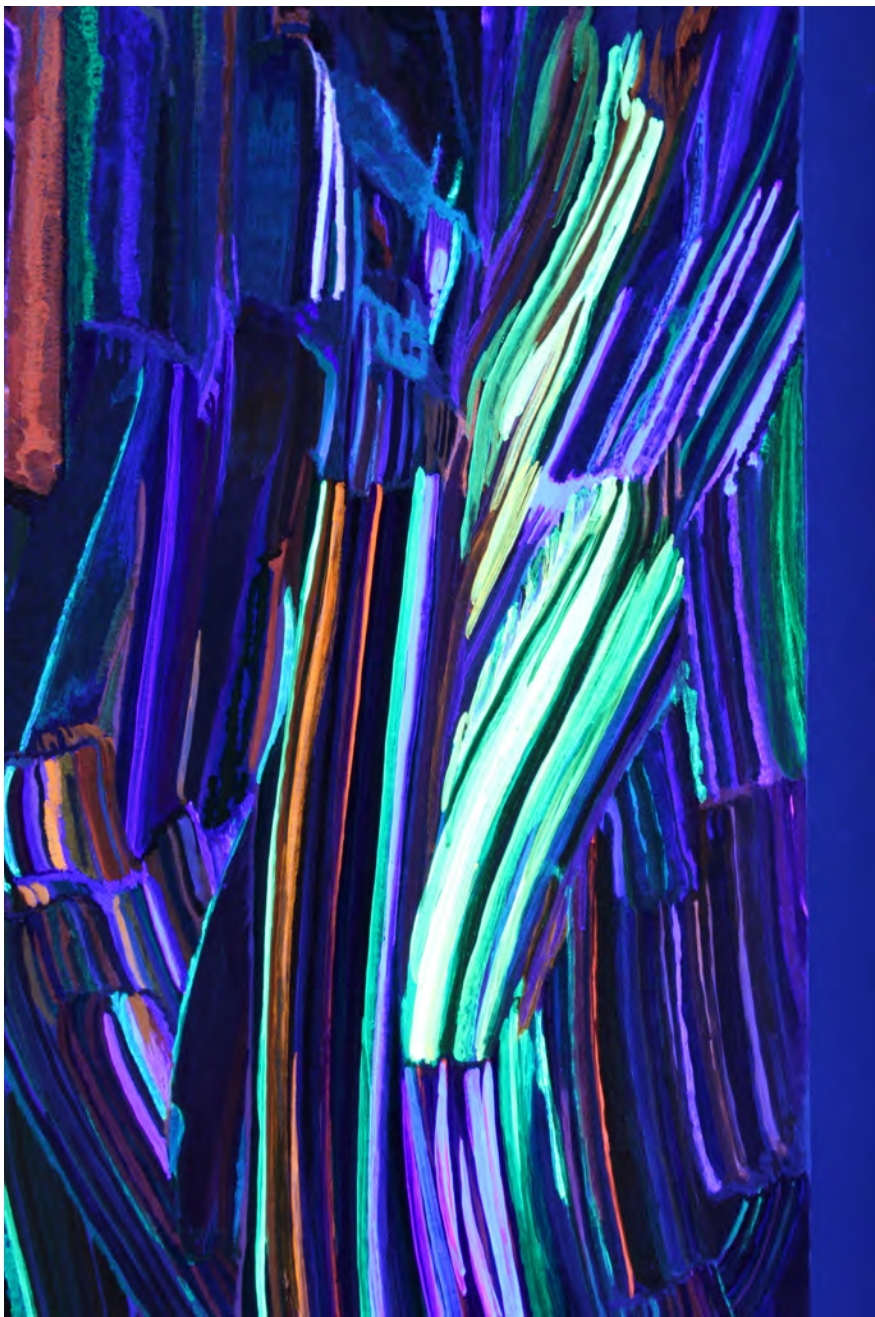
日時：

5月12日(日) 13時から

場所：

京都大学総合博物館

The Kyoto University Museum



司会：

田口かおり（東海大学講師／修復家）

登壇者：

「タイムライン」展 作家による解題

大野綾子 作家 加藤巧 作家 土方大 作家／インストラー ミルク倉庫＋ココナッツ 作家

S-CULTURA：彫刻という脱-文化について

金井直 信州大学准教授

垂直と水平のあいだにのびゆく生——井田照一の「タントラ」をめぐって

武田宙也 京都大学准教授

コメント：

岡田温司 京都大学教授／本展覧会実行委員長

TIMELINE:  
Multiple measures  
to touch time